

◆空港活性化の推進体制



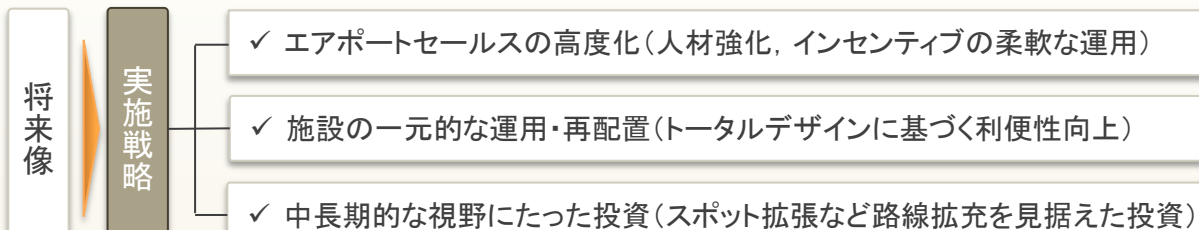
※いずれの運営体制においても、需要喚起や環境整備(二次交通等)は県等が主導的な役割

◆取組みの加速に求められる空港運営のあり方

《体制強化が求められる背景》

- ➔ 空港の二極化や空港間競争の激化(誘致合戦)により広島空港が埋没するおそれ
- ➔ 現状ではアウトバウンドが強みであるものの、将来の人口減等により利用が低迷のおそれ
- ➔ インバウンド拡大に伴う就航エアラインの増加(交渉相手の多数化)
- ➔ LCC等の航空サービスの多様化(ニーズの多様化)

《目指すべき空港運営の姿》



～空港全体の一元的なマネジメントとスピーディな施策展開～

◆空港経営改革(一体運営・民間委託)により期待される効果

《民間の知恵による実施戦略の策定・実施》

- ➔ 地域が将来像を示し、事業者選定の実施スキームに反映させること等を通じて、**将来像実現のための「実施戦略」を策定・実施する有能なパートナーを選定することが期待**できる。
- ➔ **民間のマーケティングノウハウを活かしたエアポートセールスの高度化が期待**できる。

《空港全体としてのマネジメント強化》

- ➔ 管理者の異なる**施設間の垣根を越えた施設運営が可能**になるとともに、**路線誘致と連動した施設運営が可能**となるなど、**空港全体としてのマネジメント強化が期待**される。
- ➔ 民間の資金を活用した**中長期を見据えた戦略的な投資が期待**できる。

◆導入する場合に検討が必要な事項

